

一貫生産体制をもつ **ニッコーグラフィ印刷株式会社** からのご提案

コーナーカット部 「バリ」最小への挑戦

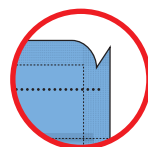
袋のカド「バリ」をなくして、人にやさしいパッケージを



チャック付スタンド三方製袋機

食品、雑貨などに使用されるフィルムパッケージの重要な役割のひとつは、中身を保護して商品の安全性を保証することにあります。最近では、中身の安全性だけではなくパッケージ自身の安全性も求められており、袋のカド部を丸くしてけがをすることを防ぐ、そんな要望は多くなってきています。

ところが、「袋のカド部を丸くすることで逆にけがをするリスクが高くなる」そんな現象が発生しているのです。製袋加工時においてフィルムロール状から袋状にカットする際、印刷のズレやフィルムの厚薄を原因としてカット位置が変化し、コーナーカット部を正確にカットすることができず、カド「バリ」が発生します。



痛っ!!



この「バリ」はコーナーカットしない時の袋のカド部よりも鋭利な形となるときがあり、安全性を求めたものが逆の結果につながるということも。

一貫生産体制をもつ弊社の製袋加工機はコーナーカット商品について**シャー制御方式**にて対応が可能で、コーナーカット部の「バリ」を最小にすることでお客様が求める安全な袋をご提供させていただきます。

シャー制御方式とは



高精度CCDカメラ



画像解析システム

コーナーカット加工に使用する刃の真上から、高精度のCCDカメラがカットの形状を監視し、コンピューターで画像を解析します。印刷のズレなどで規定のカット位置が変化してもコンピューターが位置を自動で修正し、ACサーボモーターによる正確なフィルム位置制御とあわせて正確にシャーカット加工をおこないます。

また、コーナーカット時の「バリ」部をターゲットにして、その部分を2度シャーカットするダブルカット方式も可能です。ダブルカットする部分はわずか0.6mmと、「高精度CCDカメラ」と「コンピューターによる画像解析」、「制御用ACサーボモーター」が生み出す正確なフィルム位置制御システムのシャー制御方式だからこそ生み出せる精度です。

Printer



検知機付グラフィ印刷機

Inspector

Laminator



検知機付ドライラミネーター

Inspector

Rewinder



検知機付巻替機

Inspector

Sliter



イーザーカット加工付2軸スリッター

一貫生産体制をもつニッコーグラフィ印刷は、この方式と蓄積された技術力でコーナーカットにおける「バリ」の最小を達成し、お客様の安全性への思いを実現します。